

平成24年10～12月期平均の結果

< 1世帯当たりの1か月平均の消費支出 >

総世帯は,	256,538 円		
前年同期比	名目 0.8%の減少	実質 0.6%の減少	
二人以上の世帯は,	294,500 円		
前年同期比	名目 0.4%の減少	実質 0.2%の減少	
単身世帯は,	166,897 円		
前年同期比	名目 1.5%の減少	実質 1.3%の減少	

< 1世帯当たりの1か月平均の消費支出(除く住居等) >

総世帯は,	前年同期比	実質 0.3%の増加
二人以上の世帯は,	前年同期比	実質 0.3%の増加
単身世帯は,	前年同期比	実質 1.0%の増加

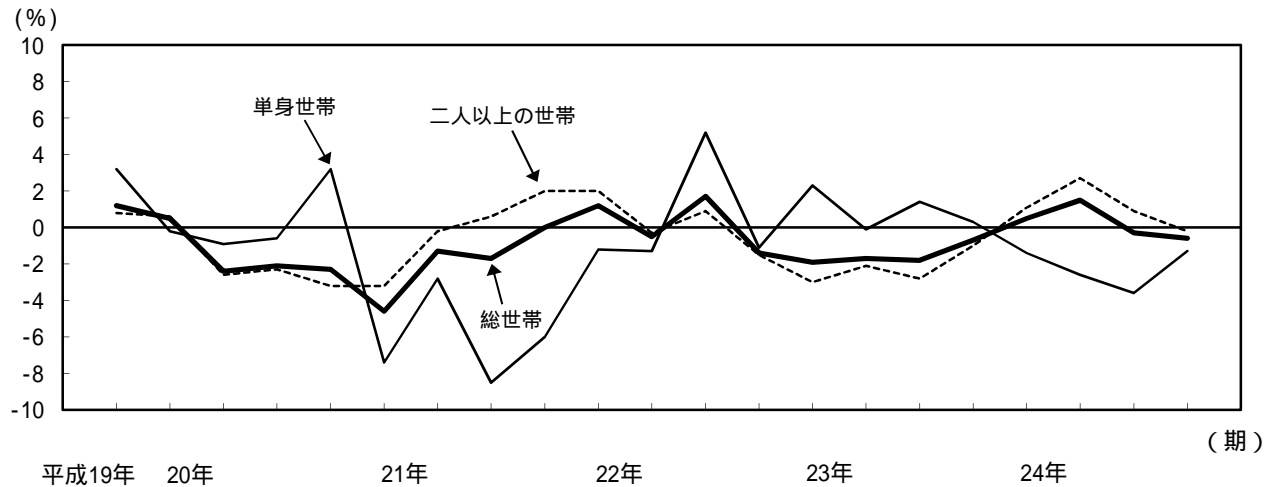
:「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数(持家の帰属家賃を除く総合)を用いた。以下同じ。

< 勤労者世帯の収支 >

総世帯は,	実収入	前年同期比	実質 1.8%の増加
	可処分所得	前年同期比	実質 1.3%の増加
	消費支出	前年同期比	実質 0.6%の減少
	平均消費性向	62.1	%
二人以上の世帯は,	実収入	前年同期比	実質 1.3%の増加
	可処分所得	前年同期比	実質 0.7%の増加
	消費支出	前年同期比	実質 1.6%の増加
	平均消費性向	64.5	%

消費支出の推移

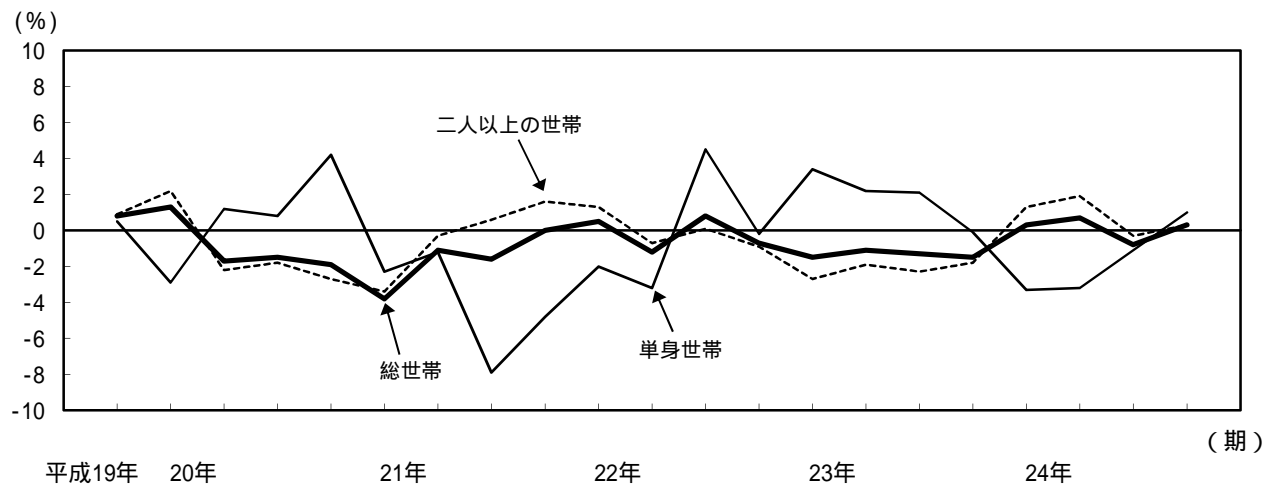
図1 消費支出の対前年同期実質増減率の推移



消費支出	平成21年	22年				23年				24年			
総世帯	0.0	1.2	-0.5	1.7	-1.4	-1.9	-1.7	-1.8	-0.7	0.5	1.5	-0.3	-0.6
二人以上の世帯	2.0	2.0	-0.3	0.9	-1.5	-3.0	-2.1	-2.8	-1.0	1.1	2.7	0.9	-0.2
単身世帯	-6.0	-1.2	-1.3	5.2	-1.1	2.3	-0.1	1.4	0.3	-1.4	-2.6	-3.6	-1.3

注 は1～3月期， は4～6月期， は7～9月期， は10～12月期を表す。

図2 消費支出（除く住居等）の対前年同期実質増減率の推移

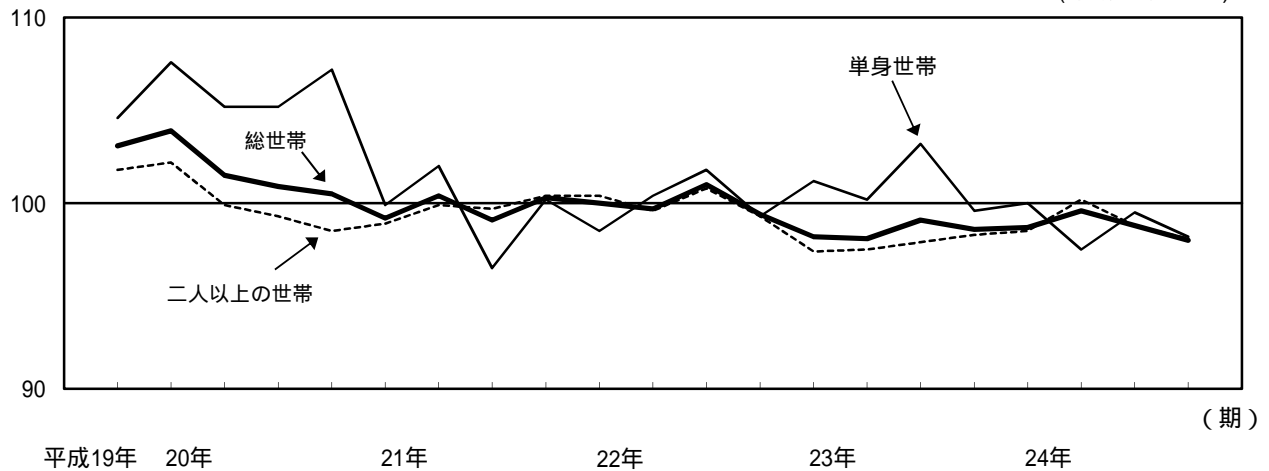


消費支出(除く住居等)	平成21年	22年				23年				24年			
総世帯	0.0	0.5	-1.2	0.8	-0.7	-1.5	-1.1	-1.3	-1.5	0.3	0.7	-0.8	0.3
二人以上の世帯	1.6	1.3	-0.7	0.1	-0.9	-2.7	-1.9	-2.3	-1.8	1.3	1.9	-0.3	0.3
単身世帯	-4.8	-2.0	-3.2	4.5	-0.2	3.4	2.2	2.1	-0.1	-3.3	-3.2	-1.1	1.0

注 は1～3月期， は4～6月期， は7～9月期， は10～12月期を表す。

図3 消費支出（季節調整済実質指数）の推移

（平成22年 = 100）



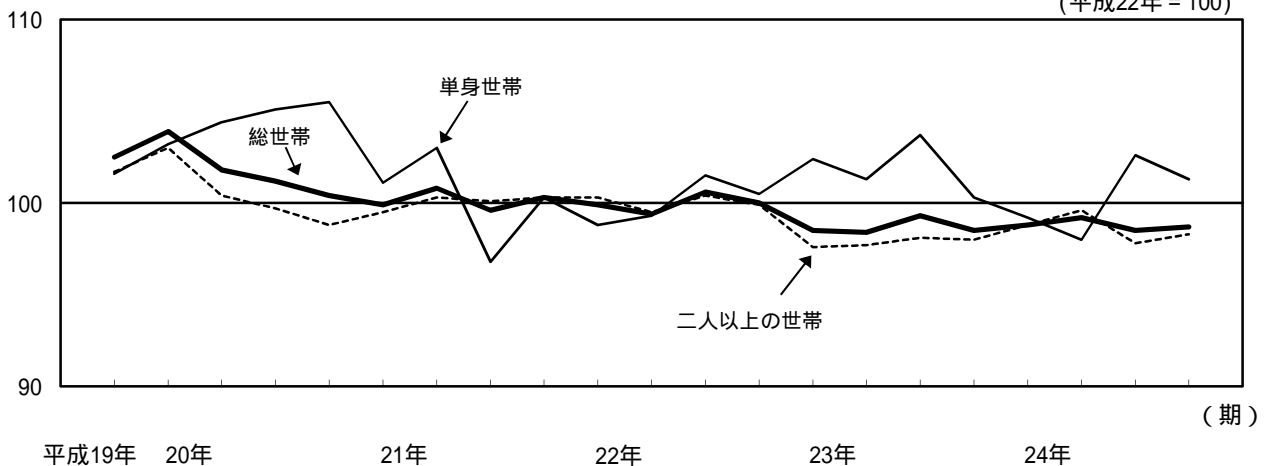
消費支出	平成21年	22年				23年				24年			
総世帯	100.3	100.0	99.7	101.0	99.4	98.2	98.1	99.1	98.6	98.7	99.6	98.8	98.0
対前期変化率(%)	1.2	-0.3	-0.3	1.3	-1.6	-1.2	-0.1	1.0	-0.5	0.1	0.9	-0.8	-0.8
二人以上の世帯	100.4	100.4	99.6	100.8	99.3	97.4	97.5	97.9	98.3	98.5	100.2	98.8	98.1
対前期変化率(%)	0.7	0.0	-0.8	1.2	-1.5	-1.9	0.1	0.4	0.4	0.2	1.7	-1.4	-0.7
単身世帯	100.2	98.5	100.4	101.8	99.3	101.2	100.2	103.2	99.6	100.0	97.5	99.5	98.2
対前期変化率(%)	3.8	-1.7	1.9	1.4	-2.5	1.9	-1.0	3.0	-3.5	0.4	-2.5	2.1	-1.3

注1 は1～3月期， は4～6月期， は7～9月期， は10～12月期を表す。

2 季節調整の方法は，センサス局法(X-12-ARIMAのX-11デフォルト)を用いた。

図4 消費支出（除く住居等）（季節調整済実質指数）の推移

（平成22年 = 100）



消費支出(除く住居等)	平成21年	22年				23年				24年			
総世帯	100.3	99.9	99.4	100.6	100.0	98.5	98.4	99.3	98.5	98.8	99.2	98.5	98.7
対前期変化率(%)	0.7	-0.4	-0.5	1.2	-0.6	-1.5	-0.1	0.9	-0.8	0.3	0.4	-0.7	0.2
二人以上の世帯	100.3	100.3	99.5	100.4	99.9	97.6	97.7	98.1	98.0	98.8	99.6	97.8	98.3
対前期変化率(%)	0.2	0.0	-0.8	0.9	-0.5	-2.3	0.1	0.4	-0.1	0.8	0.8	-1.8	0.5
単身世帯	100.3	98.8	99.3	101.5	100.5	102.4	101.3	103.7	100.3	99.2	98.0	102.6	101.3
対前期変化率(%)	3.6	-1.5	0.5	2.2	-1.0	1.9	-1.1	2.4	-3.3	-1.1	-1.2	4.7	-1.3

注1 は1～3月期， は4～6月期， は7～9月期， は10～12月期を表す。

2 季節調整の方法は，センサス局法(X-12-ARIMAのX-11デフォルト)を用いた。

総世帯（「二人以上の世帯」と「単身世帯」を合わせた世帯）

1 消費支出とその内訳

表1 消費支出の内訳（平成24年10～12月期 - 総世帯）

項 目	金 額 (円)	対前年同期増減率(%)		実質増減率への寄与度 (%)	摘 要	備 考
		名 目	実 質			
消 費 支 出	256,538	-0.8	-0.6	-0.6		2期連続の実質減少
食 料	61,937	-1.0	-0.2	-0.04	<減 少> 外食, 魚介類など	3期連続の実質減少
住 居	19,796	-6.0	-5.7	-0.47	<減 少> 家賃地代, 設備修繕・維持	2期連続の実質減少
光 熱 ・ 水 道	18,243	4.3	1.0	0.07	<増 加> 電気代, 他の光熱など	2期ぶりの実質増加
家具・家事用品	9,514	1.5	3.5	0.13	<増 加> 家庭用耐久財, 室内装備・装飾品など	16期連続の実質増加
被 服 及 び 履 物	11,474	-2.5	-2.2	-0.10	<減 少> 洋服, シャツ・セーター類など	3期連続の実質減少
保 健 医 療	11,730	3.9	4.5	0.20	<増 加> 保健医療用品・器具, 医薬品など	2期連続の実質増加
交 通 ・ 通 信	34,545	5.5	5.1	0.64	<増 加> 自動車等関係費, 通信など	4期連続の実質増加
教 育	7,771	-7.2	-7.6	-0.25		
教 養 娛 楽	26,723	-0.7	0.6	0.06	<増 加> 教養娯楽サービス, 教養娯楽用品	5期ぶりの実質増加
その他の消費支出	54,805	-3.9	(-3.7)	(-0.83)	<減 少> 仕送り金, こづかいなど	9期連続の減少

注1 「摘要」欄は、消費支出の実質増減率への寄与度の大きい項目を掲載した。ただし、「その他の消費支出」については名目増減率の大きい項目を掲載した。

2 「教育」については、詳細な収支項目別の集計を行っていない。

3 「その他の消費支出」の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

消費支出の実質増減率に寄与した主な中分類項目及び品目

中 分 類

品 目

< 減少項目 >

実質寄与度

家賃地代	[-0.36]	公営家賃, 民営家賃
交際費	[-0.32]	贈与金
教養娯楽用耐久財	[-0.21]	テレビ, ビデオデッキ
設備修繕・維持	[-0.11]	設備器具, 修繕材料
外食	[-0.08]	飲酒代, すし(外食)

< 増加項目 >

自動車等関係費	[0.33]	自動車購入, 自動車整備費
教養娯楽サービス	[0.30]	外国パック旅行費, 映画・演劇等入場料
通信	[0.23]	移動電話通信料, 移動電話
交通	[0.10]	鉄道運賃, 鉄道通勤定期代

注1 主な中分類項目を寄与度順に掲載した。

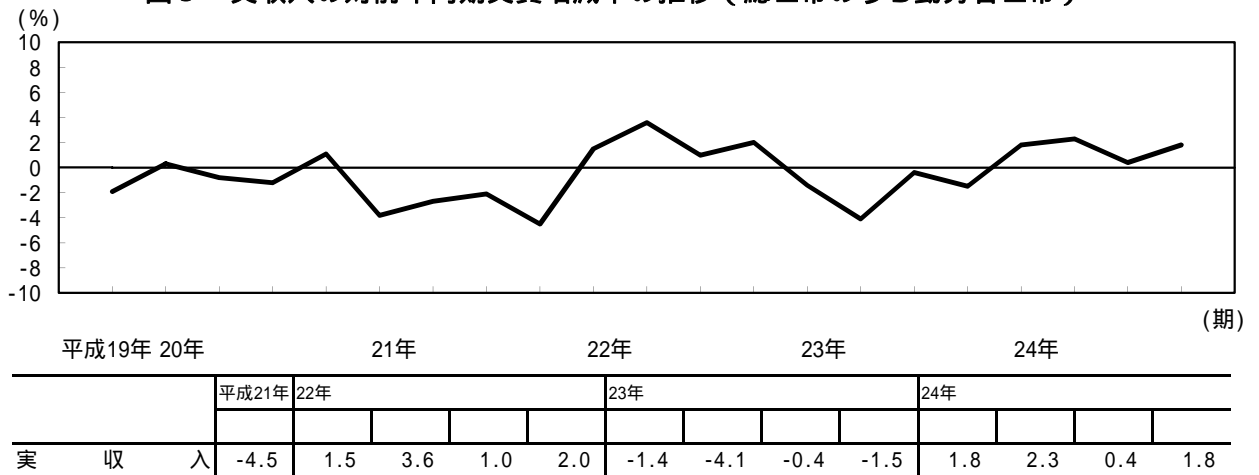
2 交際費の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

2 勤労者世帯の収支

表2 収支の内訳（平成24年10～12月期 - 総世帯のうち勤労者世帯）

項 目	金 額 (円)	対前年同期増減率(%)		実質増減 率への 寄与度 (%)	備 考
		名 目	実 質		
実 収 入	550,204	1.6	1.8	1.8	4期連続の実質増加
世 帯 主 収 入	447,638	-0.1	0.1	0.09	2期ぶりの実質増加
定 期 収 入	326,790	-1.5	-1.3	-0.82	2期連続の実質減少
臨時収入・賞与	120,848	4.1	4.3	0.91	2期ぶりの実質増加
配 偶 者 の 収 入	53,261	12.1	12.3	1.08	5期連続の実質増加
う ち 女 性	52,544	11.8	12.0	1.04	5期連続の実質増加
他 の 世 帯 員 収 入	7,914	14.0	14.2	0.18	7期ぶりの実質増加
非 消 費 支 出	92,531	4.0	-	-	6期連続の増加
可 処 分 所 得	457,673	1.1	1.3	-	2期ぶりの実質増加
消 費 支 出	284,318	-0.8	-0.6	-	4期ぶりの実質減少
平均消費性向(%)	62.1	(前年同期) 63.3	(ポイント差) -1.2		

図5 実収入の対前年同期実質増減率の推移（総世帯のうち勤労者世帯）



注 は1～3月期， は4～6月期， は7～9月期， は10～12月期を表す。

． 二人以上の世帯

1 消費支出とその内訳

表3 消費支出の内訳（平成24年10～12月期 - 二人以上の世帯）

項 目	金 額 (円)	対前年同期増減率(%)		実質増減 率への 寄与度 (%)	摘 要	備 考
		名 目	実 質			
消 費 支 出	294,500	-0.4	-0.2	-0.2		4期ぶりの実質減少
食 料	71,318	-0.7	0.1	0.02	<増 加> 野菜・海藻,調理食品など	2期ぶりの実質増加
住 居	19,229	-9.6	-9.3	-0.67	<減 少> 家賃地代,設備修繕・維持	2期連続の実質減少
光 熱 ・ 水 道	21,415	4.5	1.2	0.08	<増 加> 電気代,他の光熱など	2期ぶりの実質増加
家具・家事用品	11,179	1.0	3.0	0.11	<増 加> 室内装備・装飾品,寝具類など	7期連続の実質増加
被服及び履物	13,274	-0.7	-0.4	-0.02	<減 少> シャツ・セーター類,和服など	2期連続の実質減少
保健医療	13,466	1.7	2.3	0.10	<増 加> 医薬品,保健医療用品・器具	2期連続の実質増加
交通・通信	40,150	7.4	7.0	0.89	<増 加> 自動車等関係費,通信など	4期連続の実質増加
教 育	11,062	-6.6	-7.0	-0.28	<減 少> 授業料等,補習教育など	2期連続の実質減少
教養娯楽	29,290	-1.5	-0.2	-0.02	<減 少> 教養娯楽用耐久財,教養娯楽用品など	2期連続の実質減少
その他の消費支出	64,118	-2.0	(-1.8)	(-0.41)	<減 少> こづかい,交際費など	2期ぶりの減少

注1 「摘要」欄は、消費支出の実質増減率への寄与度の大きい項目を掲載した。ただし、「その他の消費支出」については名目増減率の大きい項目を掲載した。

2 「その他の消費支出」の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

消費支出の実質増減率に寄与した主な中分類項目及び品目

中 分 類

品 目

< 減少項目 >

実質寄与度

家賃地代	[-0.45]	民営家賃, 公営家賃
交際費	[-0.31]	贈与金, つきあい費
設備修繕・維持	[-0.22]	設備器具, 給排水関係工事費
授業料等	[-0.18]	専修学校, 幼稚園
教養娯楽用耐久財	[-0.16]	テレビ, パーソナルコンピュータ

< 増加項目 >

自動車等関係費	[0.36]	自動車購入, 自動車整備費
通信	[0.31]	移動電話通信料, 移動電話
交通	[0.24]	鉄道通勤定期代, 航空運賃
教養娯楽サービス	[0.22]	外国パック旅行費, 映画・演劇等入場料
野菜・海藻	[0.09]	キャベツ, はくさい

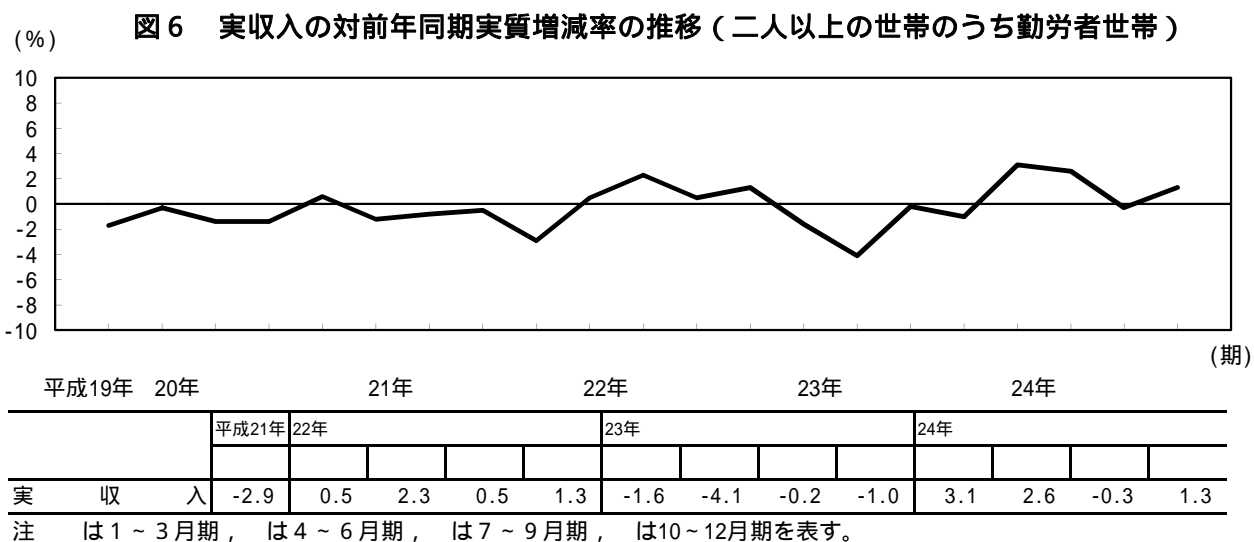
注1 主な中分類項目を寄与度順に掲載した。

2 交際費の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

2 勤労者世帯の収支

表4 収支の内訳（平成24年10～12月期 - 二人以上の世帯のうち勤労者世帯）

項 目	金 額 (円)	対前年同期増減率(%)		実質増減 率への 寄与度 (%)	備 考
		名 目	実 質		
実 収 入	605,903	1.1	1.3	1.3	2期ぶりの実質増加
世 帯 主 収 入	473,652	-1.1	-0.9	-0.72	2期連続の実質減少
定 期 収 入	347,644	-1.3	-1.1	-0.62	3期連続の実質減少
臨時収入・賞与	126,008	-0.7	-0.5	-0.10	2期連続の実質減少
配 偶 者 の 収 入	72,611	12.6	12.8	1.38	5期連続の実質増加
う ち 女 性	71,636	12.3	12.5	1.33	5期連続の実質増加
他 の 世 帯 員 収 入	10,796	14.6	14.8	0.23	7期ぶりの実質増加
非 消 費 支 出	102,293	4.3	-	-	6期連続の増加
可 処 分 所 得	503,610	0.5	0.7	-	2期ぶりの実質増加
消 費 支 出	324,941	1.4	1.6	-	4期連続の実質増加
平均消費性向(%)	64.5	(前年同期) (ポイント差) 63.9 0.6			



． 単身世帯

消費支出とその内訳

表5 消費支出の内訳（平成24年10～12月期 - 単身世帯）

項 目	金 額 (円)	対前年同期増減率(%)		実質増減 率への 寄与度 (%)	摘 要	備 考
		名 目	実 質			
消 費 支 出	166,897	-1.5	-1.3	-1.3		4期連続の実質減少
食 料	39,784	-1.1	-0.3	-0.06	<減 少> 酒類, 外食など	3期連続の実質減少
住 居	21,137	2.8	3.1	0.37	<増 加> 設備修繕・維持	3期ぶりの実質増加
光 熱 ・ 水 道	10,752	4.9	1.5	0.10	<増 加> 電気代, 他の光熱など	2期ぶりの実質増加
家具・家事用品	5,582	5.4	7.4	0.23	<増 加> 家庭用耐久財, 家事雑貨など	5期連続の実質増加
被服及び履物	7,226	-8.6	-8.3	-0.39	<減 少> 洋服, シャツ・セーター類など	3期連続の実質減少
保健医療	7,631	15.4	16.1	0.63	<増 加> 保健医療サービス, 保健医療用品・器具など	2期連続の実質増加
交通・通信	21,310	-1.7	-2.1	-0.27	<減 少> 交通, 通信	4期ぶりの実質減少
教 育	0	-	-	-		
教 養 娛 楽	20,660	2.6	4.0	0.47	<増 加> 教養娯楽サービス, 教養娯楽用品	5期ぶりの実質増加
その他の消費支出	32,815	-11.0	(-10.8)	(-2.34)	<減 少> 仕送り金, 交際費など	5期連続の減少

- 注1 「摘要」欄は、消費支出の実質増減率への寄与度の大きい項目を掲載した。ただし、「その他の消費支出」については名目増減率の大きい項目を掲載した。
 2 「教育」については、詳細な収支項目別の集計を行っていない。また、消費支出全体に占める割合が小さいことから、増減率については掲載していない。
 3 「その他の消費支出」の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

消費支出の実質増減率に寄与した主な中分類項目及び品目

中 分 類

品 目

< 減少項目 >

実質寄与度

洋服	[-0.46]	背広服, 婦人服
交通	[-0.46]	鉄道定期代, 航空運賃
教養娯楽用耐久財	[-0.41]	テレビ, ビデオデッキ
交際費	[-0.33]	贈与金

< 増加項目 >

教養娯楽サービス	[0.70]	外国パック旅行費, ゴルフプレー料金
設備修繕・維持	[0.41]	設備器具, 給排水関係工事費
保健医療サービス	[0.33]	歯科診療代, 内科診療代
教養娯楽用品	[0.33]	他の運動用具 ^{*1} , 他の愛がん動物・同用品 ^{*2}

注1 主な中分類項目を寄与度順に掲載した。

2 交際費の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

*1 「他の運動用具」とは、「ゴルフ用具」以外の運動用具類をいう。

*2 「他の愛がん動物・同用品」とは、「ペットフード」及び「動物病院代」に分類されない愛がん動物並びにそれらに関する用具及びサービスをいう。

< 参考 >

図7 消費支出の対前年同期実質増減率に対する費目別寄与度（平成24年10～12月期 - 総世帯）

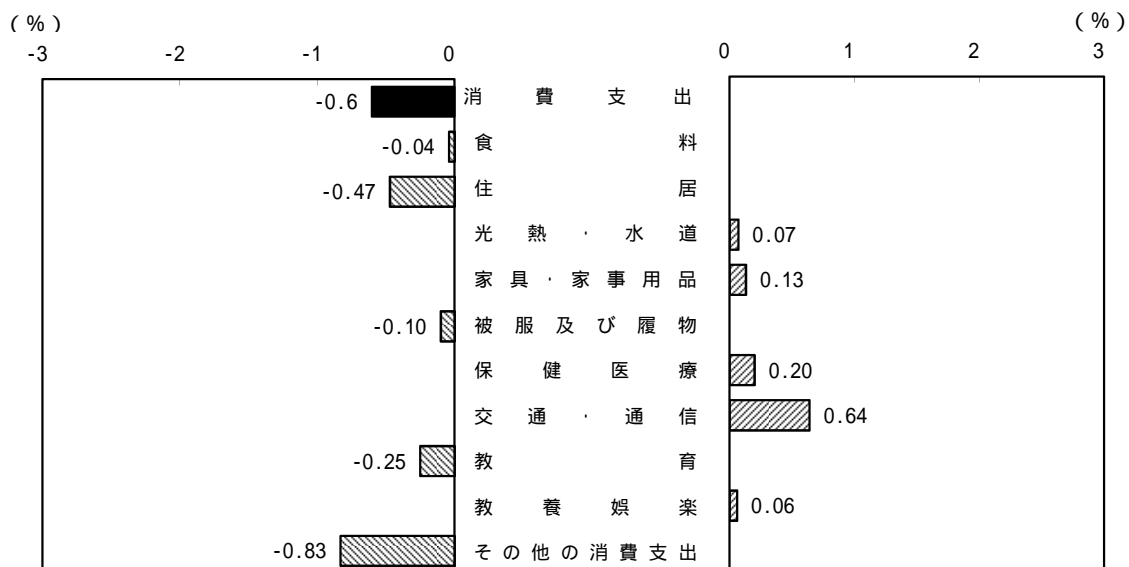


図8 消費支出の対前年同期実質増減率に対する費目別寄与度（平成24年10～12月期 - 二人以上の世帯）

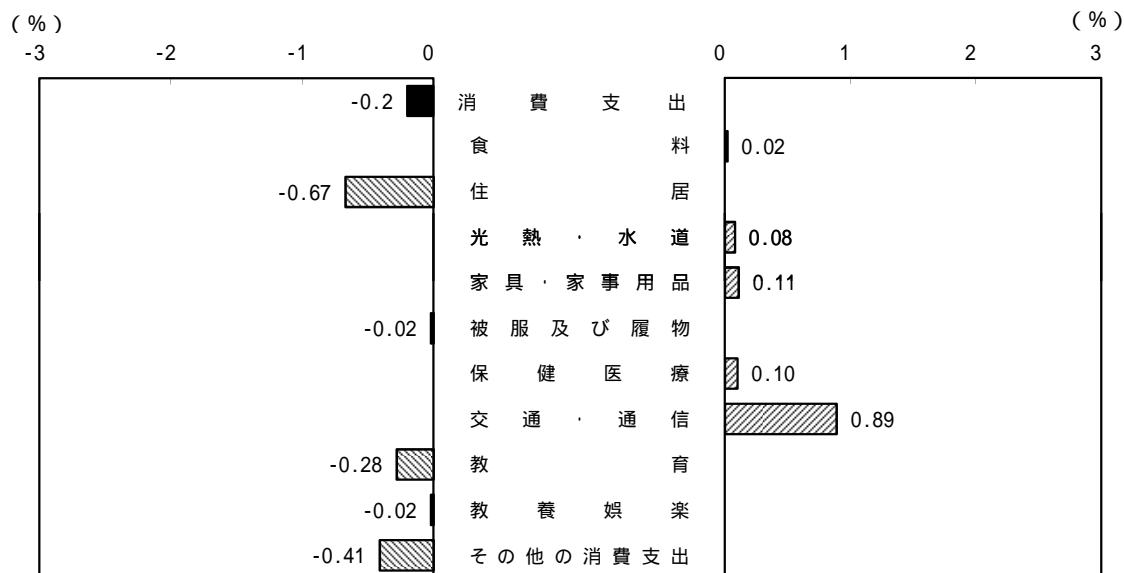
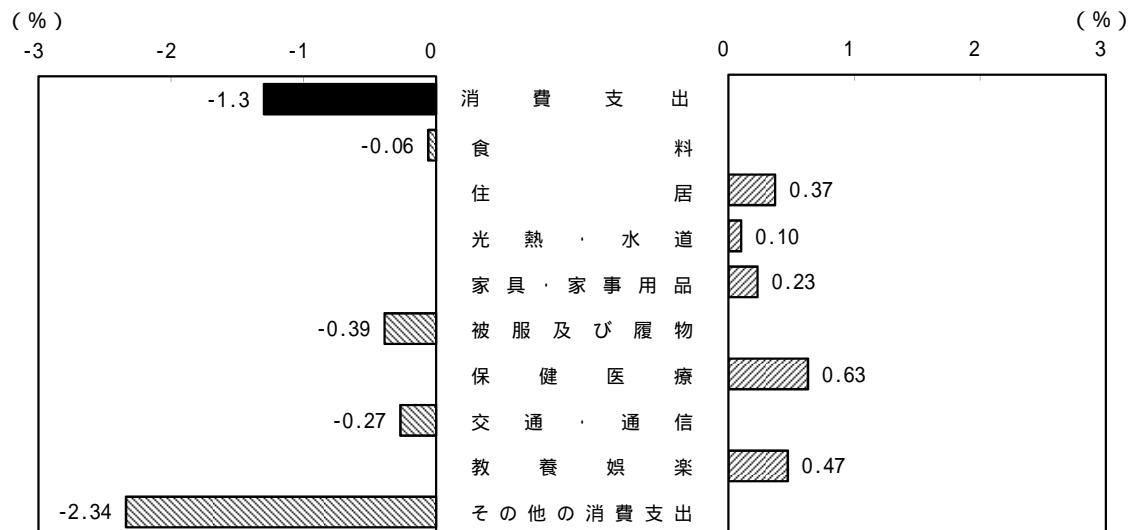


図9 消費支出の対前年同期実質増減率に対する費目別寄与度（平成24年10～12月期 - 単身世帯）



注 「その他の消費支出」の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。